

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年 2月 28日

事業所名: なかよしキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		必要に応じて、カーテンやロールスクリーンで仕切って使っている	利用児の状況や特性に応じて、室内の設定や仕切り方を変更していきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		ロールカーテンでの目隠しや利用児の実態(安全面や特性)に合わせた仕切	玩具置き場は、活用のしやすさと利用児からの注目を必要に応じて切り替えられるように改善していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		冷暖房器具や照明など必要に応じて工夫している	利用児が集中して活動に取り組むことできるよう、使う物の整理整頓や提示の仕方についてチームで検討していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員会 朝の打ち合わせ	日々の活動の振り返りも含めて、全職員で活動を作り上げられるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		配布資料の書式変更や追加説明 お知らせ方法にLINEを追加	業務改善と保護者との連携ツールとしてLINEやLINEworksを運用を運用していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		スタッフ派遣事業(やまびこ医療福祉センター)を活用した職員研修	外部講師による研修だけではなく、事業所内の研修を充実させて学びを意識づけてく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		モニタリングの意味等を保護者へわかりやすくするため、文書を配布している	アセスメントやモニタリングの目的の明確化と聞き漏らがないよう様式の変更を行う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		遠城寺式乳幼児発達検査等	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		支援計画に「ガイドライン項目」の欄あり	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			モニタリングやアセスメントといった一連のプロセスを職員で再確認し、保護者にも理解してもらえるよう新しい文書配布や説明を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		グループのリーダー中心にチームで行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		プログラムが変わっていく過程では、継続した活動も取り入れつつ変化を持たせている	プログラム内容とその目的を保護者にわかりやすく伝える方法を考えていきたい(保護者会やお便り以外の新しい方法で)
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝の打ち合わせを必ず行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動の共有	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		業務日誌 活動日誌 ケース記録	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者面談によるモニタリング	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管、利用児グループ担当者等	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健センターとの連携(主に電話) 保健師による訪問	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援記録や電話、対面での連携会議を行っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援記録や電話、対面での連携会議を行っている 学校見学の引率	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		公開療育への申し込みや関係機関研修への参加	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	コロナ対策のため実施できていない	移行支援の一環として、入園予定の園に行き園庭あそびを行う予定
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	相談支援定例会の情報などは共有している	機会があれば参加したい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳やLINEを使ったやり取り	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	保護者会等で、簡易的なものや触りの部分だけ取り入れている	年間で回数を決めて実施していきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時や変更があった場合説明している	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		モニタリングや交付の際に説明している	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談支援とも連携を図りながら対応している	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者茶話会、学習会を兼ねて「なかよタイム」を開催している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談支援とも連携を図りながら対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月一回の「なかよだより」	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		項目ごとに分けた個人情報承諾書にて毎年確認	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		関係機関との連携で家族を支援する	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		ハロウィンの際は地域方にも参加してもらっている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			各種マニュアルについては、保護者向けの新しい文書を来年度配布する予定。説明については、動画視聴で対応する。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防所も交えた避難訓練を行えるようにする。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		法人内での報告会を行っている	法人内での報告会の周知を徹底することと、事業所内でも検討会を行っていきたい。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修受講	外部研修だけでなく、内部でも普段の療育にあてはめながら実践に基づいた研修を行っていききたい。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		個別支援計画交付の際に説明している	身体拘束に関しては保護者向けにも新たに説明文書を作って来年度配布予定

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)